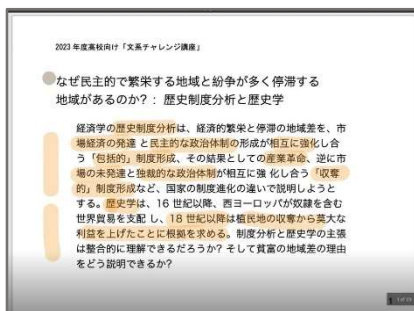


2023 年度チャレンジ講座（第 1 回）を実施しました

5 月 17 日（水曜日）、今年度の第 1 回チャレンジ講座を実施しました。

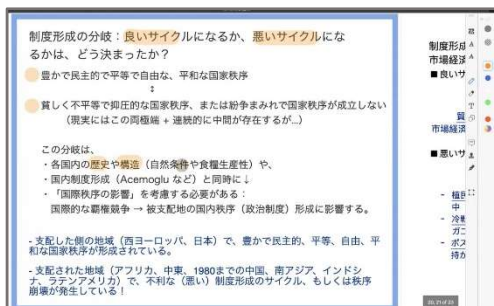
今回は、経済学部の木村雄一先生を講師に迎え、「なぜ民主的で反映する地域と紛争が多く停滞する地域があるのか？」というテーマで講義が行われました。経済学の歴史制度分析と歴史学の主張の 2 つの視点から整合的に考察するといった内容で、その視点に基づいて、貧富の地域差の理由をどのように捉えることができるのかというものでした。



貧しい地域となるか豊かな地域となるかは、国の制度形成によって決まるものであり、豊かな地域となるための「よい制度」とは、国家権力と民衆の利害が一致し、権力が民衆の厚生向上のために経済制度を形成・運営する場合であるとのこと。逆に権力と民衆の利害が一致しない場合に、抑圧的な政治制度が形成され、よい経済制度が形成されず貧しい状況を招く。このことについて世界の地域ごとに具体的に考察があり、最後に日本についても話がありました。戦後の GHQ による支配も結果として経済的によい初期条件を日本にもたらしたとの説明でした。

講義のまとめとしては国家形成、権力構造や社会階層構造、さらには国際秩序の問題は大きく重要な論点であり、それを考慮する必要があるというものでした。

今回は 19 校から 296 名の高校生が受講しました。受講生からは「大学の教授の授業を受ける機会は中々ないので、こういう機会で受けることができて良かったです」、「歴史の知識的な視点だけでな



く論理的な視点からも考えることができ思考の幅が広がった」、「繁栄する地域と紛争が多く停滞する地域の違いについて歴史的観点から分析があり興味深かった」、「内容は難しかったですが、知れば知るほどおもしろそうだなと思い興味関心が湧きました」等の感想が寄せられました。

